学校番号	416

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　倫理（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書のほか副教材を用いて、資料を読み、内容を捉え整理し、言語活動の充実を図る。視聴覚教材や ICT を活用して、生徒の興味・関心を促し、生きる主体としての自己を確立するために生徒が意欲的に思考・判断・表現を行い、倫理の知識・理解を深めるようにする。なお、学習指導要領の改訂を受けて、アクティブ・ラーニング的手法を数多く取り入れる。今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。またビデオ教材などを用い学んだ内容が実際の生活の中でどのように生かされるか考察するので真剣に取り組んでください。

2　学習の到達目標

人間尊重の精神に基づいて，青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，生きる主体としての自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め，人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに，これらにかかわる諸課題を探究する態度を身に付け，人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし，人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに，良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択して，これらを自己形成に資するよう活用するとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を，生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し，人格の形成に生かす知識として身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期の課題と自己形成	・人間とは何か ・青年期の心理・課題	○ ○	 ○	○	○ ○	a: 青年期の精神的な目覚めと共に起こる「自分とは何者か」という問いに関心をもち，自らのアイデンティティを探究しようとする意欲をもっている。 b: 青年期の発達課題を自覚し，自己のアイデンティティの確立のためには何が必要かを考え，青年期の健全な自己形成をめざす在り方について公正に判断できる。 c:各思想家の資料を収集し、読み取り図表などにまとめたうえで、「人間とは何か」という問いに対する自分なりの答えを表現している。 d:各思想家の主張や、青年期の心理・課題について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査
	人間としての自覚	・ギリシアの思想 ・ユダヤ教とキリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 愛という言葉に関心が高まる青年期において「エロス」「隣人愛」「正義を愛する神」「慈悲」「兼愛」「仁」などに関心をもち，「愛」とはどのようなことかについて考えようとする意欲と態度をもっている。 b: 西洋の科学的な自然観と，老荘思想が説く東洋的な自然観との違いについて考え，自然と共存する在り方について公平に判断する。 c:必要な資料を収集して読み取り、各思想の特徴について比較考察して図表などにまとめている。 d:源流思想について偏りなく概説的に理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

2学期	国際社会における日本人としての自覚	・日本の風土と伝統 ・外来思想の受容 ・町人意識のめざめと庶民思想 ・西洋思想との出会い	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 日本人の心情やものの見方，考え方が，古代の宗教観や倫理観に由来することに関心をもっている。日本文化は外来思想を日本人なりに咀嚼し、日本文化は重層性をもっていることについて意欲的に探究している。 b: 近世の日本人の倫理思想が，現代の私たちの生き方や行動の仕方に与えている影響について多面的，多角的に考察し，日本人の伝統的な在り方について公正に判断できる。 c: 必要な資料を収集して読み取り、各時代における思想の特徴について比較考察して図表などにまとめている。 d: 近代において先哲が西洋の思想や文化を受容しつつ，近代的な日本人としてのアイデンティティの確立に精神的に苦闘したことを理解し，それを国際社会における自らの日本人としての在り方生き方に活かす知識として身に付けている。	ワークシート 定期考査
	現代に生きる人間の倫理	・人間の尊厳 ・近代の科学革命と自然観 ・自由で平等な社会の実現 ・人間性の回復と主体性の確立	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 最近の新聞やニュースから，人間の尊厳を大切にしている事例，見失っている事例についての資料を収集し，それらを活用しながら，人間の尊厳が軽んじられていないかに関心をもち，人間の尊厳の根拠を問い，一人ひとりが人格としての尊厳をもつことの大切さについて考えようとする意欲をもっている b: ベンサムの量的に大きな幸福と，ミルの質的に高い幸福の思想などを手掛かりに，「幸福とは何か」について考察する。社会契約思想や人格や人倫の概念をふまえ、個人のあり方について公正な判断できる c: 必要な資料を収集して読み取り、各思想の特徴について比較考察して図表などにまとめている。 d:西洋思想について偏りなく概説的に理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査

3学期	現代の諸課題と倫理	・現代の思想と人間像 ・現代の諸課題	 ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 急速に変化する現代の世界とさまざまな課題をかかえる現代人の心身，言葉，欲望などの問題について関心をもち、意欲的に探究している。 b: 人種や民族への差別や虐殺を生み出す心理的，社会的メカニズムについて考察し，人間の尊厳を守る在り方について公正に判断できる。 c: 急速に変化する現代の世界とさまざまな課題をかかえる現代人の心身，言葉，欲望などの問題について資料を収集し、読み取り整理している。そのうえで、自らの意見を論理的に表現できている。 d: 理性万能主義のもたらした現代文明の歪みをあばいた新しい知性や現代の諸課題について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。